

飯田フォークフェスタ vol.4

それぞれの青春 ～ぼくらのそばにいつも歌が～



六文銭



細坪 基佳



沢田 聖子



青木 まり子



三浦 和人

地元アマチュアグループ G・G・B かほくわち

2024年 3月3日(日)

開演14:00 (開場13:30) ※終演17:00頃予定

飯田文化会館ホール

全席指定

S席(1階席) 5,500円

A席(2階席) 一般 4,000円

学生 500円(大学生以下)



チケット発売日 ——— 2023年12月2日(土) ※発売初日は、お一人様6枚まで

プレイガイド

- 飯田文化会館/窓口…12月2日(土) 9時～、電話…12月2日(土) 13時～
※発売日の受付は17:15まで。発売日以降は平日8:30～17:15
- チケットオンライン「いいチケ」/12月2日(土) 11時～ <https://p-ticket.jp/iida>
※要会員登録(登録無料)。コンビニ決済・発券もご利用いただけます。(手数料)
- 平安堂飯田店・座光寺店/12月2日(土) 10時～



いいチケ

*公演中止の場合を除き、ご予約・ご購入後のチケットの変更、キャンセルは一切お受けできません。

*未就学児の入場はご遠慮ください。託児コーナー(無料)を用意しますので、ご希望の方は2月22日(木)までに飯田文化会館事業係までお申し込みください。[定員あり・先着順]

主催:飯田フォークフェスタ実行委員会/飯田文化会館
後援:信濃毎日新聞社/中日新聞社/南信州新聞社/週刊いいだ/飯田ケーブルテレビ/飯田エフエム放送/飯田経済新聞/飯田文化協会

お問合せ/飯田文化会館 長野県飯田市高羽町5-5-1 TEL 0265-23-3552 <https://www.city.iida.lg.jp/site/bunkakaikan/>

飯田フォークフェスタ vol.4

それぞれの青春 ~ぼくらのそばにいつも歌が~



■六文銭

小室等、及川恒平、四角佳子、こむろゆいの4人によるユニット。1960年代に東京フォークの中心人物の一人だった小室等を中心に、1968年に結成される。1969年4月、中川五郎とのカップリングアルバム「六文銭・中川五郎」でURCレコードからデビュー。1971年、上條恒彦+六文銭で演奏された「出発の歌」が、三重

県の合歓の郷で行われた「ポピュラーソング・フェスティバル71」でグランプリ受賞。次いで、11月、第2回世界歌謡祭でグランプリを獲得。1972年4月、ベルウッドレーベルの第1回新譜として「キング・サーモンのいる島」をリリース。同年解散。時を経て、2000年10月、小室等、及川恒平、四角佳子が横浜イギリス館での「及川恒平コンサート」において、28年ぶりに3人で歌ったのをきっかけに「まるで六文銭のように」とユニット名をつけ活動を始める。2007年、アルバム「はじまりはじまる」をリリース。2009年、こむろゆいを加えてユニット名を「六文銭'09」(ろくもんせん)に改名し、同年、アルバム「おとのぼ」をリリース。活動開始から50周年を迎えた2018年、11月にユニット名を「六文銭」と改め、前作から約9年ぶりとなるニューアルバム「自由」をベルウッド・レコードからリリース。全国各地ライブツアーやフェスティバルなどに参加、ライブを中心とした活動を精力的に展開中。



■細坪 基佳

1974年フォークデュオ「ふきのとう」結成、デビュー曲「白い冬」をはじめ、「風来坊」「春雷」など、数々の心に残るヒット曲を発表。

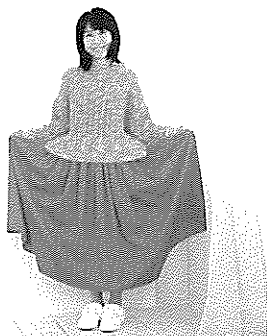
1992年18年間の活動にピリオドを打ちソロとして始動。

全国ツアー、アルバム制作のほか、フォークイベントも企画しアーティストとの親交を深めている。

2019年45周年を迎え50本に及ぶ全国ホールツアーを開催。

2022年4月から2023年9月中旬まで、Over the Rainbow ~七色の虹を越えて~と題し、70歳を迎えるコンサートツアーを行い、同タイトルのLIVE DVDも発売。

2023年9月からデビュー50周年ツアー ~Thank You! Half Century~「僕の50年という奇跡」と題し大きな節目のツアーがスタート、同時にDVD「虹の向こうに」を発売。



■沢田 聖子

1962年3月13日、東京生まれ。生後11ヶ月から赤ちゃんモデルを始め、数々の子供服雑誌やテレビコマーシャルに出演する。渥美清さんと共演したパンシロンのCMはYouTubeにアップされており、貴重な沢田聖子の幼少期を見られる。1979年5月25日、高校3年生17歳の時に、「イルカの妹」のキャッチコピーのもと「キャンパススケッチ」でデビュー。以降、ラジオDJやコンサート活動、レコード制作を中心に、シンガーソングライターとしてマイペースに活動。コロナ前までは毎年、全国70本以上のライブツアーを開催していた。2023年5月に通算43枚目となった、3枚組ライブアルバム「感謝!カンレキ! LIVE 2022」を発売、現在までにシングルは42枚発売している。

2024年はデビュー丸45年の節目の年、アニバーサリーライブツアーや記念CD&DVD制作も予定している。



■青木 まり子

1971年女性フォークデュオジョネットとしてデビュー。TV、ラジオ、コンサート等で活動。解散後は資生堂春のキャンペーンCMソングとして「赤い花見つけた」等、数々のCMソングを歌い、弾き語りライブも始める。

1996年から2007年までは再結成の「シモンズ」、1999年から「五つの赤い風船」というフォークグループで活動すると同時にソロライブ活動も全国で展開を続けている。

2006年からAED推進のための「君の瞳」を歌っている。この曲はYouTube(「あなたにしか救えない大切な命~君の瞳とともに」の挿入歌)で聴くことができる。

2018年から日本AED財団のAED大使として普及啓発活動にも力を入れている。



■三浦 和人

1980年、フォークデュオ雅夢「愛はかげろう」でデビュー。

1984年に解散後、FM音楽ラジオ番組「三浦和人のポップ・ナウ」のパーソナリティーを13年間勤める。現在は、ライブを中心にジョイントコンサートにも積極的に参加しながら、オリジナルアルバム等、コンスタントにCDを発売し「叙情詩人」と言われる、人の心に寄り添う音楽を発信し続けている。

2020年デビュー40周年を迎え、記念アルバム「それぞれの明日」を、2021年には記念コンサートを収録したライブアルバム「風の水彩画」を、そして2022年には、DVD「三浦和人 SPECIAL CONCERT 2021」を発売した。また、2022年11月、新たな挑戦として富澤一誠氏プロデュース、新井満氏作詞による「ラストワルツ-最後に贈る言葉-」をテイチクより発売した。2024年春には、初の4枚組ベスト盤を発売予定。

地元アマチュアグループ



■G・G・B

爺(G)と爺(G)と婆(B)のフォークトリオ。オリジナルを中心に、ジャンルを問わないカバー曲も取り入れています。コロナ禍で4年近いブランクができましたが、飯田下伊那を中心に活動を再開しました。



■かほくわち

ヴォーカルの華歩とギターのかほくわちのアコースティックユニット。シンプルなスタイルで気持ちを伝えることを一番大切にして活動しています。

演奏を通じて様々な場所で様々な人たちと出会えることに感謝です。